

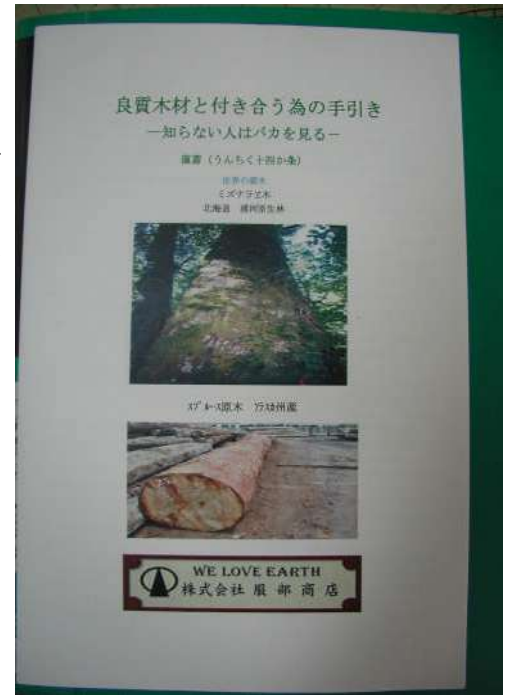
木材業界にとって5月は端境期

広葉樹のシーズンは終わりました。もうすぐ針葉樹のシーズンインですが、日本に入ってくる材は去年より遅れています。その一つの原因が海外での日本の買い付け単価が、開発途上国にも負けているのです。中国・韓国のみならずインド・ベトナム等にも一部の材で買い負けしています。買い付けに行った商社の人間は、日本人に合った材を現在の国内価格では、全く買えないと言っていました。確かに現在為替レートが円安の為に10~15%日本が割りを食っているのは事実ですが、現地価格は高いです。

服部商店は6月以降、広葉樹からアメリカ産針葉樹（スプルース・米ヒバ等）に製材する原木をシフトしますが、7月以降日本に入荷される価格の高い原木をお客様に同じ価格で合わせて行けるか、大変危惧しています。

ところで**木材価格の上昇は誰にも止められません**。しかし努力すれば価格添加を最小限に抑えられます。**小生は最小限に出来ると思いますし、そうしなければなりません**。小生服部雅章が作成した小冊子

（良質木材と付き合う為の手引き）をじっくり読んで頂いた方には私の考えは御理解賜れると思います。もし手元に無く必要な方は遠慮なく申し付け下さい。（アンケート用紙にて請求して下さい。）



様変わりする流通は将来何をもちますか

小生服部雅章は昭和55年大学卒業後、木材の修行に愛知県にある複式市場・東海木材相互市場（複式市場とは複数の浜問屋が参加している市場）の浜問屋【榊名古屋市売り木材】に勤めに行きました。3年3ヶ月勤めましたが、本年の4月末に同会社は店を閉めました。

私が勤めていた時代は、桧の柱等の内地材が凄く売れていました。凄く毎日が充実した日を送っていた記憶が今も鮮明に残っています。その記憶を辿って行くと、最高に売れた時は、桧の柱だけで、1人の重役が1ヶ月で1億円売った事も記憶に残っています。

その当時の市場の仕組み・役割を説明させて下さい。その役割は大きく二つ存在していました。まず一つ目の役割は、山から伐採された原木を、通し柱用の原木、管柱用の原木、鴨居取り用の原木等に、仕分けして製材業者の方に販売する事です。（原木市場の役割）

二つ目の役割は、製材工場から色んな部材が製材品（柱から筋交い、等）として出るのですが、それを必要な方に販売する事でした。（製品市場の役割）

ところで現在の市場の役割は、凄く様変わりを呈しています。それは二つ目の役割が大変薄くなって来たからです。製品市場の機能が凄く薄れて来た事です。現在の流通は製材工場から直接ハウズビルダーに製材品が入り、プレカットされ、建築の現場に直送されています。

消費者目線から見れば流通が簡素化されて良い事と見えるかも知れませんが、しかし困った事も同時に発生しているのです。それは色物類が全く売れなくなってきているのです。製材工場から、出る製材品は並材（例えば隠れる柱）だけでは有りません。色物（例えば和室関係の部材）は全く売れていないのです。売れない色物だけ市場に出されるのです。（製材工場は全ての材【上級材から下級材まで売れなければ、】売れなければ採算が取れない。

本来、市場を通すと言う事は、有る意味物々交換をする事です。必要な方に必要な物を提供するの、役割です。しかし現在その役割を、ホームセンターがその市場に取って代わろうとしています。ホームセンターの従業員『木材の素人』が役割（木の事を正確に必要な人に説明する）を果たせる事は、絶対に無理です。彼らはただの売り子だからです。

市場を通さない事は流通の簡素化にはなるが、真の情報が伝わらない事もある。

味吉兆・米檜カウンター



4月30日に新装オープンした味吉兆さん（大丸・心齋橋）へ妻の誕生日祝いの目的で昼食に行ってきました。私は妻のために予約をしていました。予約していた席は私が納めたカウンター席です。

お店は4月25日に新装オープンした初めての週末のせいか凄く繁盛していました。次から次へとお客様が来店されていました。お祝いの立派な花も数多く飾られ、さすが、『老舗・味吉兆』だなと思いました。そして何かご縁が有って私が、カウンター材を納められた事に、感謝致しました。

お店は一階からエレベーターに乗り8階で降りて左を眺めるとすぐお店の看板が有り、入り口に店長さんが、颯爽と立っておられて、お客様に凄く丁寧な案内をされていました。

お店に入るとカウンター席が目の前に現れました。椅子にかけると何とも言えない雰囲気がありました。そして順番にお料理が出てくるのですが、味は勿論超一流の味わいでした。皆様も食べに行かれたらと思います。

【美味しいお料理と無垢のカウンターが醸し出す見事なコラボレーションが成功した現場です。】

お店を出るときに店長の柿木楠廣さんとお話する機会が偶然有りまして、カウンターの事をお話すると、『大事に使わしていただきます』仰られ、大変嬉しかったです。

上記写真で木目が大変美しいのが解ると思いますが、檜独特の目合い・色合いで凄くお店にマッチしているのです。正式な材質名は米檜（ベイヒ）です。サイズは長さ4000ミリ・巾565ミリ・厚み60ミリが仕上がりサイズです。現盤は長さ4200ミリ、巾770ミリ厚み90ミリです。【乾燥期間15年の貴重価値材です。】

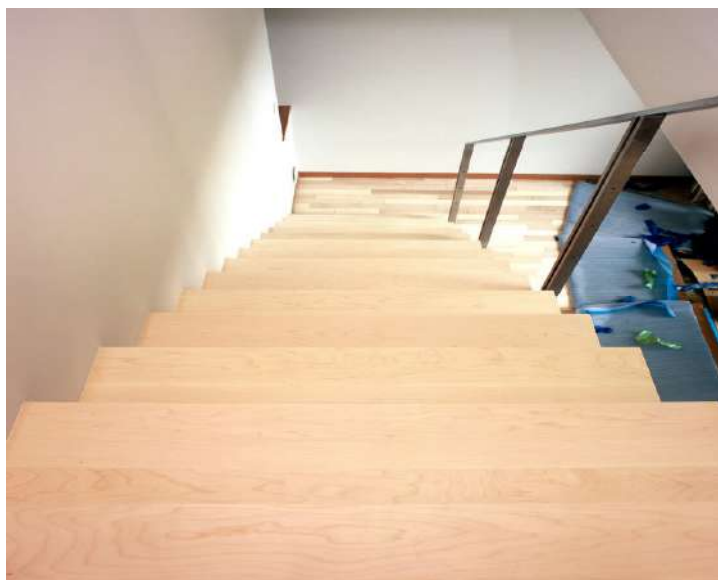
弊社がさせて頂いた手順を説明させていただきます。

- 1、この原盤を、建築士様と工事を受注した工務店様の現場責任者様に見て頂きました。
- 2、そして製材で580ミリの中空にします。（シラタを除き木表・木裏のキズを外す）
- 3、厚みを65ミリの荒木サイズに落とします。（最初の設計サイズは仕上り50ミリを製材時60ミリに変更）
- 4、工務店様ご指定の木工所に配達

1～3の作業を建築士様、工務店の責任者様の目前で製材したのですが、乾燥が十二分に出来ていても製材から出るオガコは檜の香りなのです。これも無垢の良さだと思います。

【無垢の良さは目合・色合いだけではなく香りも素晴らしいのです。】

フル・オーダー階段部材



上記写真は服部商店が納めました森林認証が取れている所謂、循環型森林から伐採された木材を使ったハードメープル材の階段部材の写真です。(興味の有る方は別紙アンケートにて申し付け下さい。)

階段の段板のサイズは長さ925ミリ巾275ミリ厚み32ミリです。@11,000円/枚(税別)

階段の踊り場のサイズは長さ925ミリ巾925ミリ厚み32ミリです。@38,000円/枚(税別)

仕様	サイズ	ブラックチェリー	ハードメープル	ウォールナット	ナラ	アッシュ
階段段板	275x925x32	12,000/枚	11,000/枚	11,000/枚	10,500/枚	10,000/枚
階段段板	335x1020x32	15,500/枚	14,500/枚	14,500/枚	14,000/枚	13,500/枚

*階段段板・踊り場は剥ぎです。

*上記サイズは基準です。ご要望に即したサイズにてお見積もりします。

*サンダー仕上り(1000番仕上げ)で納入します。



無垢の良さを理解して頂いた得意先彫刻展示会



服部商店のお客様の辻井雅子様展示会が京都府長岡京市で4月27日から29日まで開催されました。

私は初日に訪問させて頂きましたが、私に来てくれた事を大変喜んで頂きました。

辻井様の主催する木彫教室は木彫アトリエ雅夢と言う名称で生徒さんが約100名いるとお聞きしました。四ヶ所で教室を催されて御活躍しているとの事でした。

ところで、私はカツラの板（18ミリ・21ミリの柾目の板）を買って頂いていますが、作品を見せて頂いた感想は生徒さんの熟練度に合わせた教え方をされている事です。それは入門者の作品と熟練者の作品の違いが、我々素人にはすぐ解らなかつたからです。そして色々と説明をお聞きすると、作品の製作上、使用樹種はカツラが望ましい事でした。私は何故カツラ（赤味・柾目）にこだわるのですかと聞くと、色んな作業が非常にしやすい事を挙げられていました。私はその理由を服部新聞を読んで頂いている方に理解しやすいようにプロの材木屋として分析しました。

- 1、カツラは色付けの作品を作るのに、様々な色が素人でも付けやすい。
- 2、柾目だから形状変化『ソリ』がきにくい。
- 3、赤味だから剥ぎあわせするとき、色が揃う。
- 4、端材でブローチ等の小物を製作していますが、端材でもカツラの赤味の柾目なので、小物でも大変美しく仕上がり、ひとつの作品になり捨てる部分が非常に少ない。

1～4がカツラの良さですが、カツラは日本しか無い樹種【日本固有の樹種はカツラ・ホオ・マカバ・セン】のひとつです。大変貴重価値の材になっています。

第三回平林木材祭りと出会い



5月13日に第三回平林木材祭りが大阪市住之江区平林にて開催されました。服部商店は第一回から、参加しています。

服部商店は木材普及の為に活動の一環として積極的に参加をしています。主な出品材は無垢の木材です。内訳は広葉樹の板とか角物等です。

本年は木材祭りの三年目です。来場者は目標の5500人に達しました。一年毎に来場者は増えていっています。これからも続く限り参加していきます。

ところで今回も新しい出会いがありました。それは大阪府の守口の職業訓練校の若い女性生徒の二人とお話しが出来た事でした。その話しの中

で彼女らは、まだまだ木材に対しては素人ですが、しかし木材業者以上に『木について』熱い情熱が有り、『木の良さ』を理解しているのです。

私は彼女らにアドバイスを、一つだけしました。それは訓練校を卒業して、どんな所に就職しても、作り手側の苦勞（例えば大工さんの苦勞等）を理解してくれる様な人間になって欲しいと言いました。

掘りこたつ式こだわり・タモ材カウンター（天板）



長さ 1500ミリ 巾 720ミリ 厚み 45ミリ

この材は天然乾燥で仕上がっていますので、光沢が人工乾燥材と違います。【乾燥方法は本来、天然乾燥の方が良い。人工乾燥は含水率を急激に落とすために、細胞が少し壊れ、木材本来の光沢が失われやすい。】

ところで、こたつの天板は過去に、何度も納めた事は有りますが、こういう埋め込んだコタツの現場は初めてでしたが、今まで数えられない位色々な現場で納めてきた実績と経験のおかげで上手く納められました。

又この現場は、隠れた**こだわり**があるのです。それは天板の端に、少し隠れていますが脚（丸棒直径35ミリ長さ450ミリ）も一枚物の材を、弊社の得意先にて加工して頂き丸めて納めました。その**こだわり**は工務店の現場責任者の方からの要請でありました。小さな**パーツも集成材ではなく本物の無垢**にして欲しいと言う要請でした。



この現場の原盤はタモ材の長さ1800ミリ巾760ミリ厚み51ミリの両耳付きの材です。乾燥期間は3年物です。

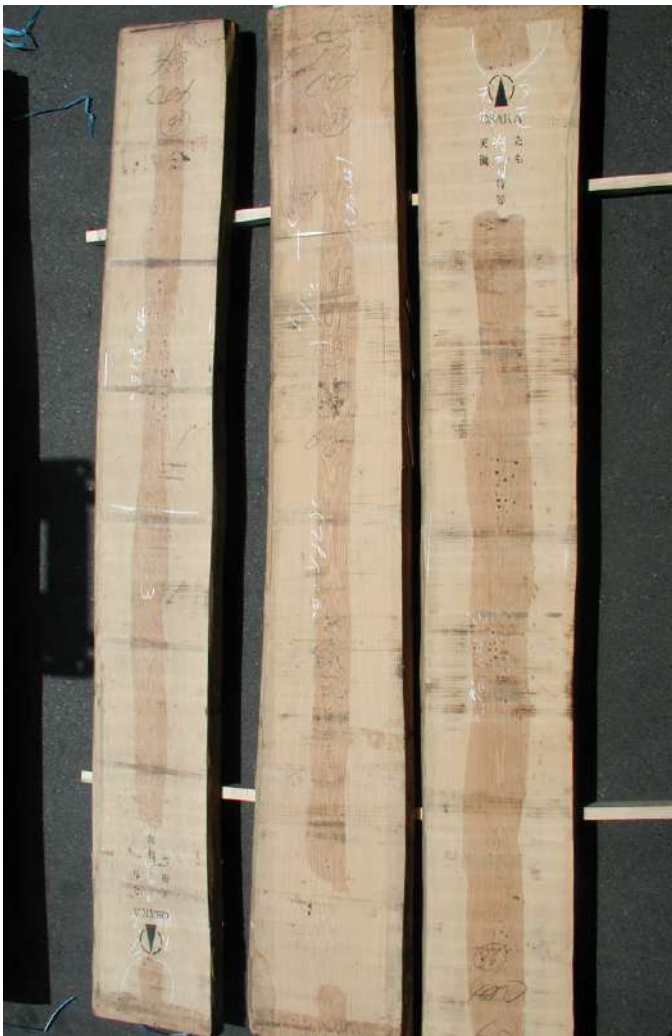
服部商店は数多くの中の広い材を用意しています。何なりと申し付け下さい。

タモ・カウンターと親切な工務店

右の写真の現場は大阪市北区曽根崎新地の焼酎をメインに商いをされている居酒屋さんです。施工は東大阪市に有る I MD 工務店様です。私は先方の積算部の藤原様に可愛がって頂いています。弊社に頂いた注文はカウンター用のタモ材です。

ところで I MD 工務店さんの仕事内容が凄く素晴らしいと言う噂は、よく聞くのですが、なるほどと思うことが今回の商いでも有りました。それは現場担当者の、責任ある行動です。私が担当者と少し話しをしたのですが、些細な話しにも、真剣に聞いて頂きました。その真摯な態度で I MD 工務店さんの店の親切さは容易に察知できました。

(先方の社長とは一度もお会いした事は有りませんが、I MD 工務店さんと取引出来た事を嬉しく思います。)



上記写真 2 枚がこの現場に使われた天然乾燥 3 年物のタモ材です。

服部商店とはこういう店です。

服部商店の**経営理念**は感謝・真心・貢献です。

私達は自然の恵みである『木』を扱えることに感謝し、真心込めた物づくりを、日夜目指し、それを必要な方に必要な形で、真心込めて流通させることにより、社会に貢献します。

服部商店の**経営方針**は、**日本一の品質の無垢材を扱い最高の物を提供します。**

服部商店の**行動指針**は**お客様の先の御客様は自分の御客であり、お客様に満足して頂く為に、妥協しない物づくりを日夜目指す。**



服部商店本社



木材栈積み

服部商店は世界の広葉樹を主体に扱っています。一部アラスカ産の針葉樹（スプルース等）も扱っています。服部商店と他社の材木屋との一番の違いは、自家工場（製材機械）を持っていて、広葉樹・針葉樹共扱っている数少ない材木屋と思います。そして何より**製材機械が自分の所にあるというメリットは、対お客様に対して出来る一番大きなサービスと思います。**

この間、工務店の現場責任者とデザイナーさんが、会社にお見えになった時、材を見ていただいたのですが、その場で先方の必要なサイズにカットさせて頂きました。荒木を見ても中々デザイナーさんは、木の事は解らないと思いますが、製材で鋸を通してカットしていくと、何かしらのインスピレーションが、沸いてきたみたいです。

http://www.ja-labo.jp/news/2007/04/3_2.html のホームページ・アドレスをクリックしてください。私が口で説明をするより確かな事が書いてあります。



上記写真はカツラ原木を製材している様子です。

赤字出血商品

(売り切れ御免商品・品傷み商品ではございません。)

イタヤフローリング (ユニタイプ)



(無塗装・色ムラ有り)

15 X 75 X 1820

100束のみ 1束(12枚入り)

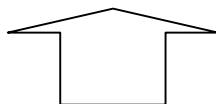
約160平米

@ 2,800円/平米

このフローリングは、居宅にも十二分に使える性能は有ります。仕上げの色を塗れば凄く変わります。クリア塗装でも使えます。色ムラとは、イタヤ特有の木自身の色合いで有ります。節等の影響で凹んでいるとかの欠点ではございません。

具体的引き合いがございましたら、アンケート用紙にメモ書きで結構ですので引き合い下さい。





FAX番号072-422-8577

アンケート

Q 1、 小冊子(良質木材と付き合いの為の手引き)が欲しい

はい

いいえ

Q 2、 階段部材のカタログ及び写真が欲しい

はい

いいえ

Q 3、 緊急アンケート結果の報告について興味がある

はい

いいえ

御社名	
ご担当者名	
電話番号	
FAX 番号	

株式会社 服部商店
大阪府岸和田市木材町16-1
TEL 072-438-0173
FAX 072-422-8577
担当 服部雅章

新しいカタログが出来上がりました
階段部材カタログです。

(カラー写真 2 枚同封)



必要な方は別紙アンケートで請求してください。

緊急アンケート結果の報告

緊急アンケートの返事を多く頂きましたがその中から今回は柱関係をお伝えします。

Q 1, 柱の数量を教えてください。

A 1、 管柱 72本 (105・120角)
通し柱 8本 (120・135角)

解りやすくする為に105ミリ角で試算します。

管柱のサイズ 長さ 3メートル 105ミリ角 0.0331m³ (一本材積)

一般に建築士さんが図面に桧一等と歌っていますが、そこに問題点が隠れているのです。

JAS 規格の強度等級は、建築基準法にて強度性能に見合うように特等、一等、二等と三段級に分かれています。特等は一等の4/3倍程度の強度を持つものであって、上級構造材です。一等は普通構造材を目安としている。

上記の事から、建築士さんが図面で一等と歌っている事は道理が一見、通っている様に見えますが、本当にそうでしょうか？

桧の柱を例に出します。九州材なら@80,000/m³前後(5月17日調べ)特一等(平均レベル製材工場)

尾鷲材なら@90,000/m³前後(5月17日調べ)特一等(平均レベル製材工場)

産地で値段が違います。何故だか解りますか？ それは樹齢なのです。九州のほうが尾鷲より早く木が生長します。尾鷲なら105ミリ角を製材する原木に成長するのに70年掛かりますが、九州なら40年程です。

又製材工場によって立方当たり@5,000円位違います。(丸みの等級の付け方)

尾鷲材の良質材を製材する工場から出てくる柱が大体@95,000/m³です。九州で少し設備が落ちる工場の材が75,000/m³です。計算は↓の様になります。

@95,000 X 0.0331/m³ = 3,144円 3,144円 X 72本 = 226,368円

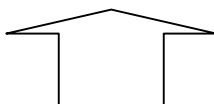
@75,000 X 0.0331/m³ = 2,483円 2,483円 X 72本 = 178,776円

47,592円

こう言う産地及び製材工場による単価の違いが有るのに、図面にただ桧一等と描いてよいのでしょうか？

この値段の違いは、強度の違いに繋がります。同じ桧でも年輪が細かく、しかも丸みが付いてない材を選んで、家作りをした場合とそうでない場合、強度の違い即ち安心に繋がるのです。(只単に価格差が発生するのでは有りません)

現在そうした情報を開示した組織が出来上がっています。産地表示をした業者の事です。それが木材表示推進協会と言う組織です。<http://www.zenmoku.jp/fipc> がその URL です。木材も食べ物と同じ様に表示する事を目的に作られた組織です。全国に沢山有る材木業者のうち約48社が登録しています。その材を選んで使うのも、お施主様に対する責任だと思います。なお服部商店もその一員です。番号は261402です。



FAX番号072-422-8577

第二回服部商店勉強会開催のお知らせ

本年二月に第一回服部商店勉強会を開催しましたが、第二回目を七月に開催したいと思っています。予定はスプルース原木の製材をお見せしたいと考えていますが、今月号の新聞で書いていますが、入荷が遅れそうですが、何とか間に合うと思います。

皆様の予定をお聞きしたく少し早いですがご案内します。

来月の初旬には本年のスプルース原木の入荷情報が大体解ると思います。

六月二十五日発行の服部新聞六月号にて、もう一度お知らせいたしますので宜しくお願いいたします。

七月の第三 土曜日が希望

はい

いいえ

七月の第四 土曜日が希望

はい

いいえ

御社名	
参加名	
電話番号	
FAX番号	

株式会社 服部商店
大阪府岸和田市木材町16-1
TEL 072-438-0173
FAX 072-422-8577
担当 服部雅章